

# 鳥取県感染症発生動向調査情報(月報)

令和5年8月18日(金)  
鳥取県生活環境部衛生環境研究所

## 令和5年第27週から第30週までの患者報告の状況

### 1 報告の多い疾病(インフルエンザ/COVID-19 定点29、小児科定点19、眼科定点5、基幹定点5からの報告数)

今回(27週～30週)4週 (R5.7.3～R5.7.30)	前回(23週～26週)4週 (R5.6.5～R5.7.2)	前々回(19週～22週)4週 (R5.5.8～R5.6.4)
1 新型コロナウイルス感染症 (2,034) [↑1,453]	1 新型コロナウイルス感染症 (581)	1 感染性胃腸炎 (652)
2 ヘルパンギーナ (379) [↑70]	2 感染性胃腸炎 (518)	2 新型コロナウイルス感染症 (378)
3 RSウイルス感染症(377) [↑204]	3 ヘルパンギーナ (309)	3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (175)
4 感染性胃腸炎 (346) [↓172]	4 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (223)	4 インフルエンザ (138)
5 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(209) [↓14]	5 RSウイルス感染症 (173)	5 RSウイルス感染症 (74)
6 その他 (273) [↑133]	6 その他 (140)	6 その他 (135)
(合計 3,618)	(合計 1,944)	(合計 1,552)

※[ ]内は前回との比較を表す。↑は増加したものの、↓は減少したものの、数値は増減の件数である。

### 2 前回との比較増減

全体の報告数は3,618件であり、86%(1,674件)の増となった。

増加した疾病	減少した疾病
手足口病 286%	咽頭結膜熱 52%
インフルエンザ 283%	感染性胃腸炎 33%
新型コロナウイルス感染症 250%	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 6%
RSウイルス感染症 118%	
ヘルパンギーナ 23%	

### 3 コメント

- ・新型コロナウイルス感染症は、6月末から顕著な増加がみられ7月末をピークに少し減少しているものの、引き続き感染者が多く報告されています。また高齢者など重症化リスクの高い患者の増加による医療負荷にも注意が必要です。  
新型コロナウイルスの感染力の高さに変わりはありませんので、周りの方や重症化リスクの高い方への感染を防ぐため、エアロゾルを意識した換気や手洗い、医療機関受診時等でのマスクの着用などの感染防止対策を行いましょう。  
咽頭痛や発熱など体調が悪い場合や陽性が判明した場合は自宅で安静に過ごし、症状に応じて医療機関を受診される際は、事前に電話相談の上、受診しましょう。
- ・西部地区を中心に手足口病が増加しており、8月9日付けで県内全域に手足口病警報を発令しました。乳幼児・小児に多く発症するため、注意が必要です。
- ・ヘルパンギーナ警報を発令しています。患者報告数はピークを越えましたが、引き続き注意が必要です。ヘルパンギーナのウイルスにはアルコールが効きにくいいため、手洗いの徹底や換気などの感染予防をお願いします。
- ・梅毒が増加しており、注意が必要です。本年は6月末時点で既に昨年1年間の発生件数以上の感染が報告されています。早期発見と適切な治療が必要です。感染の不安があるときは、早めに医療機関や保健所で検査を受けましょう。

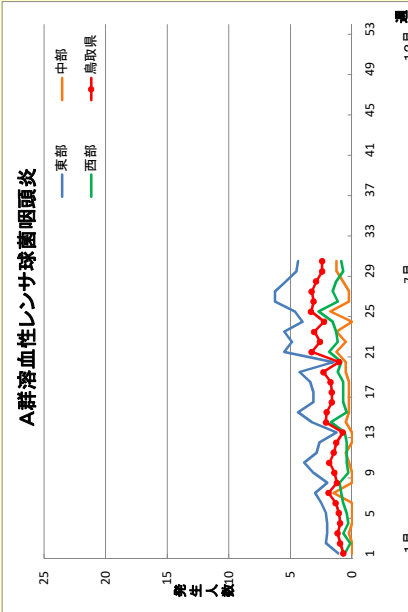
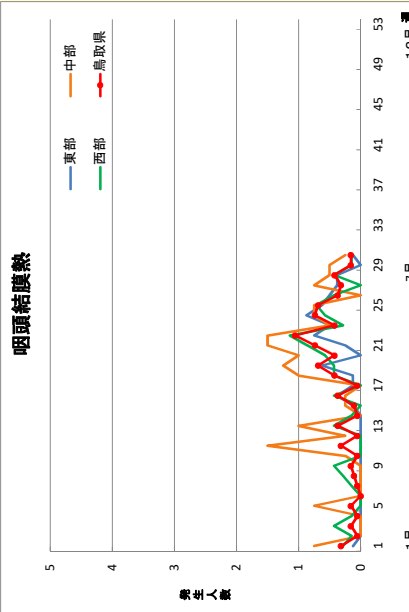
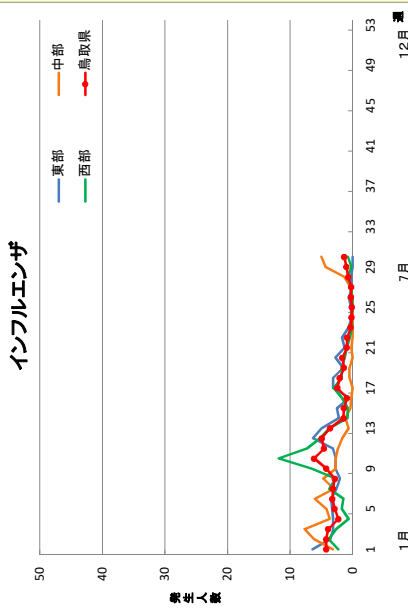
# 令和5年第27週～第30週の報告患者数

令和5年8月2日 作成

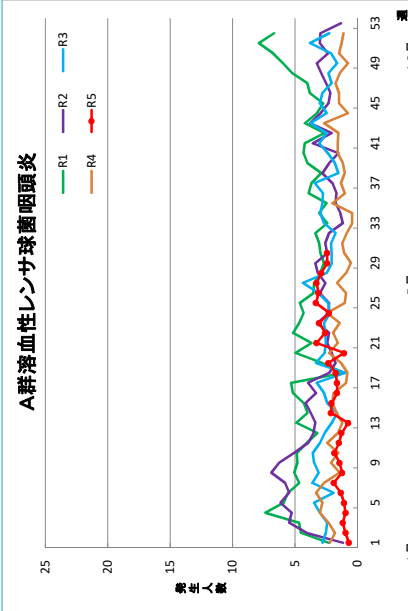
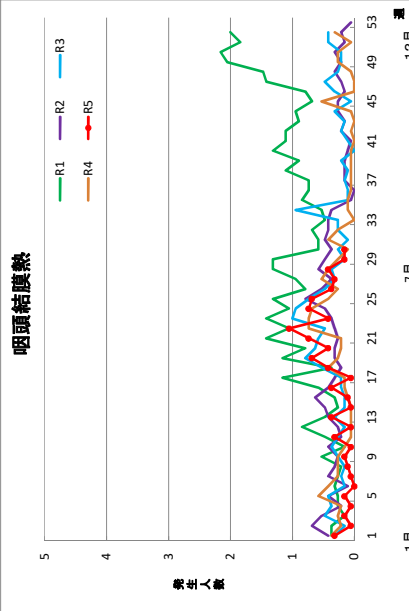
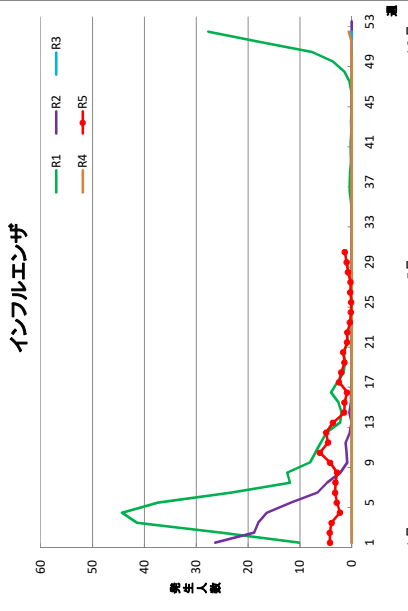
区 分	今回報告患者数 第27週～第30週(4週分)					前週報告患者数 第23週～第26週(4週分)				前々週報告患者数 第19週～第22週(4週分)				前回比 増 減	令和5年 患者数 累 計
	東部	中部	西部	計	増減	東部	中部	西部	計	東部	中部	西部	計		
	(12)	(6)	(11)	(29)		(12)	(6)	(11)	(29)	(12)	(6)	(11)	(29)		
インフルエンザ/COVID-19定点数	(12)	(6)	(11)	(29)		(12)	(6)	(11)	(29)	(12)	(6)	(11)	(29)		
1 インフルエンザ	4	66	22	92	68	20	0	4	24	86	4	48	138	283%	1,938
2 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)	675	474	885	2,034	1,453	180	161	240	581	119	106	153	378	250%	2,993
小児科定点数	(8)	(4)	(7)	(19)		(8)	(4)	(7)	(19)	(8)	(4)	(7)	(19)		
3 咽頭結膜熱	7	8	5	20	-22	20	8	14	42	13	21	21	55	-52%	171
4 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	164	14	31	209	-14	163	13	47	223	129	11	35	175	-6%	1,084
5 感染性胃腸炎	147	117	82	346	-172	266	118	134	518	326	159	167	652	-33%	4,192
6 水痘	1	1	1	3	1	0	0	2	2	1	1	3	5	50%	23
7 手足口病	8	33	98	139	103	4	20	12	36	0	9	0	9	286%	207
8 伝染性紅斑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	—	5
9 突発性発疹	3	4	6	13	-17	10	4	16	30	5	10	9	24	-57%	152
10 ヘルパンギーナ	54	115	210	379	70	50	95	164	309	6	22	6	34	23%	730
11 流行性耳下腺炎	0	1	2	3	2	1	0	0	1	0	1	0	1	200%	9
12 RSウイルス感染症	75	61	241	377	204	17	34	122	173	36	15	23	74	118%	665
眼科定点数	(2)	(1)	(2)	(5)		(2)	(1)	(2)	(5)	(2)	(1)	(2)	(5)		
13 急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	1
14 流行性角結膜炎	2	0	0	2	0	2	0	0	2	0	2	3	5	0%	12
基幹定点数	(2)	(1)	(2)	(5)		(2)	(1)	(2)	(5)	(2)	(1)	(2)	(5)		
15 細菌性髄膜炎	0	0	0	0	-2	2	0	0	2	0	0	0	0	-100%	3
16 無菌性髄膜炎	1	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0%	4
17 マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	0
18 クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	0
19 感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに限る。)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	—	5
合 計	1,141	894	1,583	3,618	1,674	735	453	756	1,944	722	362	468	1,552	86%	12,194

注)新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は、令和5年第19週からの報告件数。

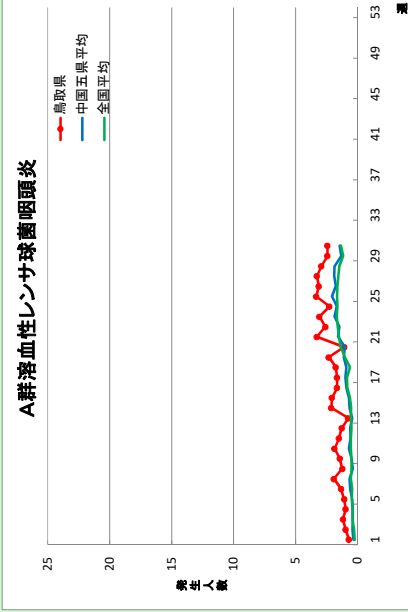
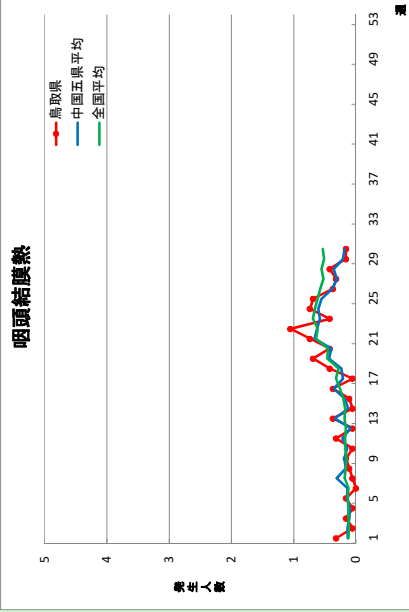
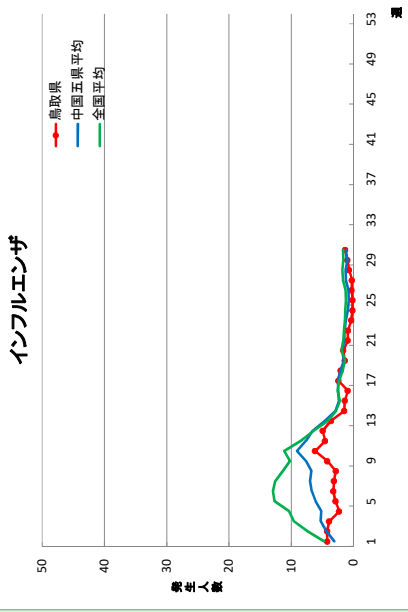
地区発生状況グラフ(定点当たり)



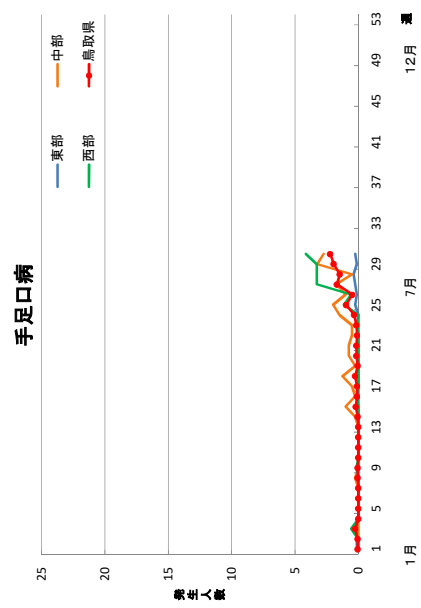
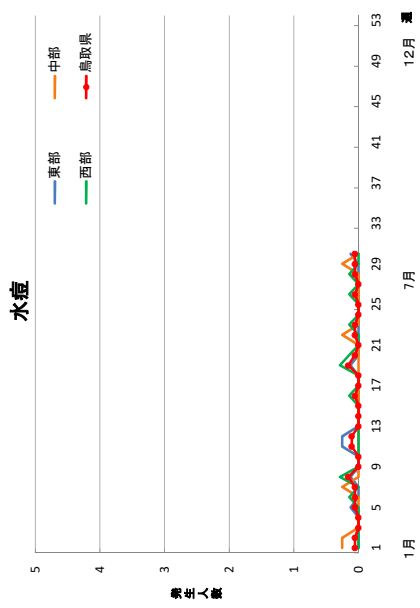
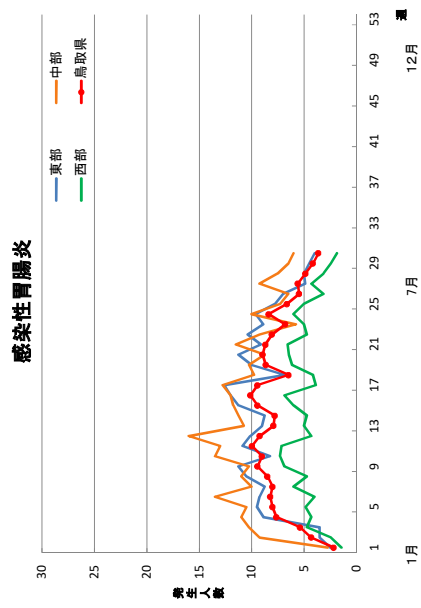
年次別発生状況グラフ(定点当たり)



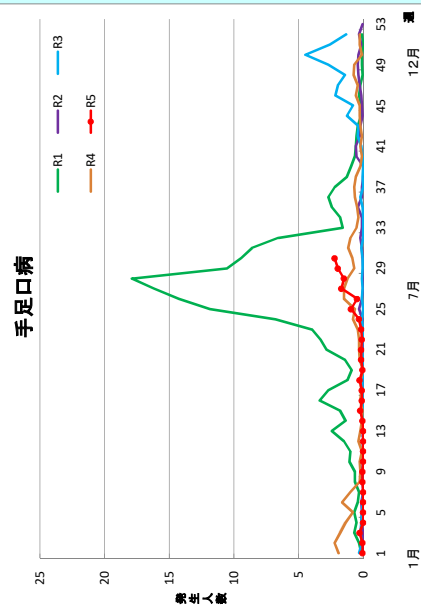
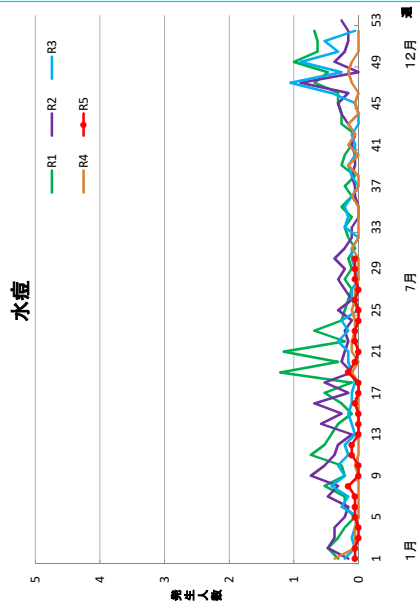
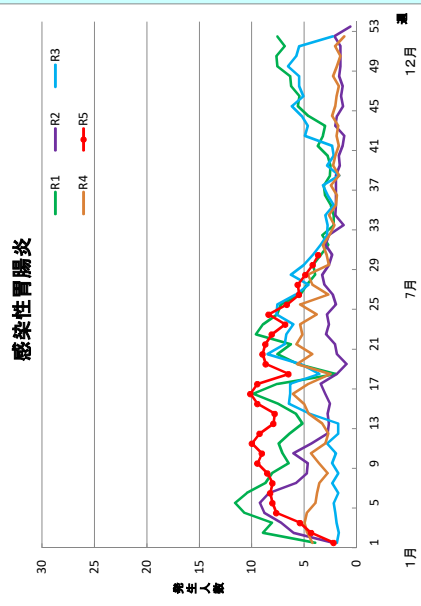
中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)



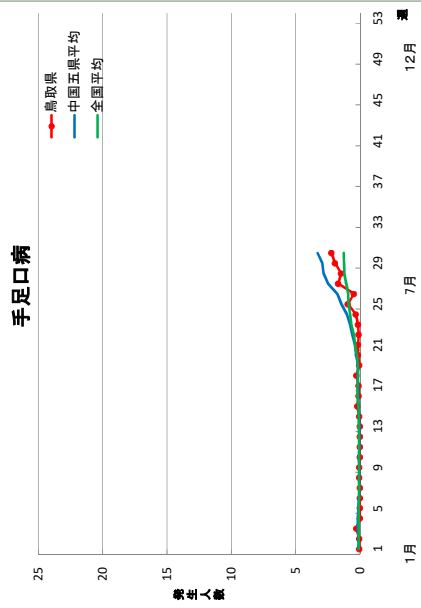
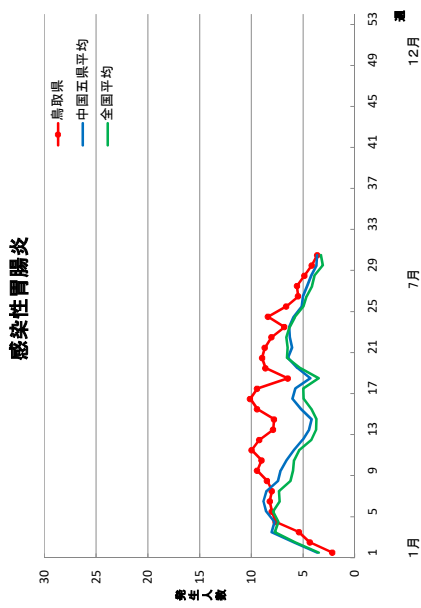
### 地区発生状況グラフ(定点当たり)



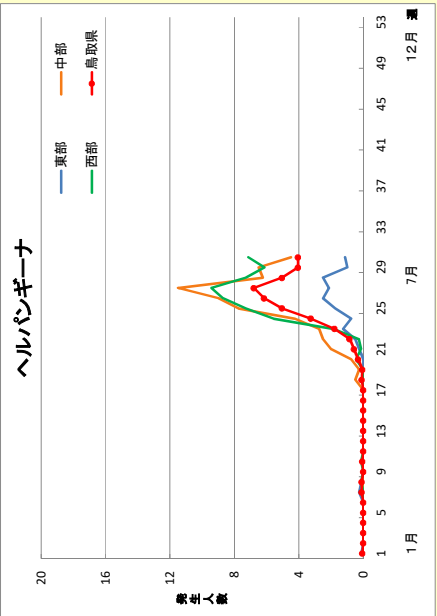
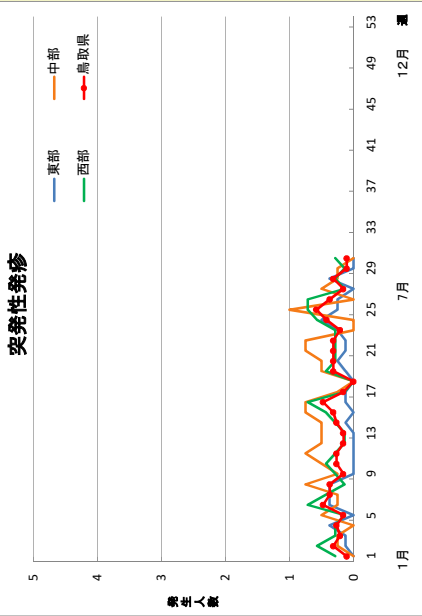
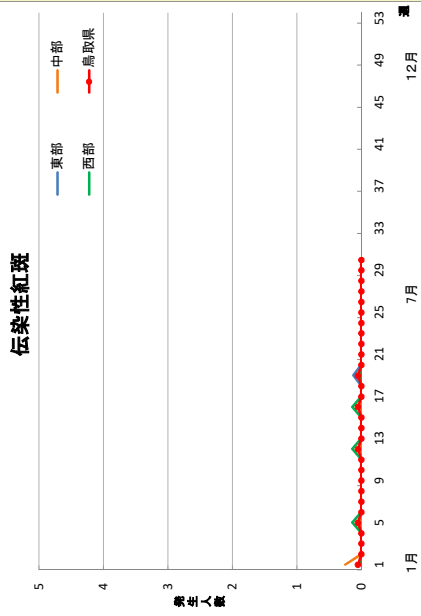
### 年次別発生状況グラフ(定点当たり)



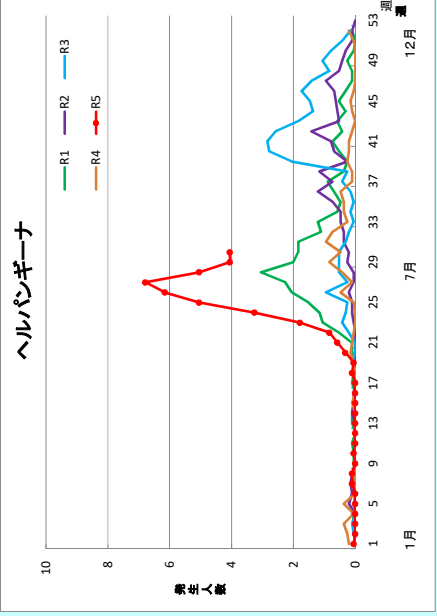
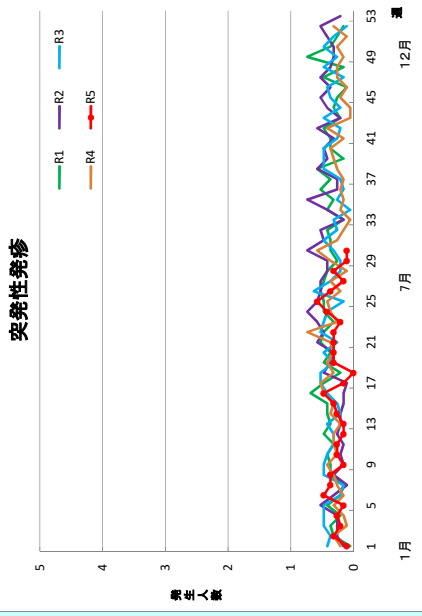
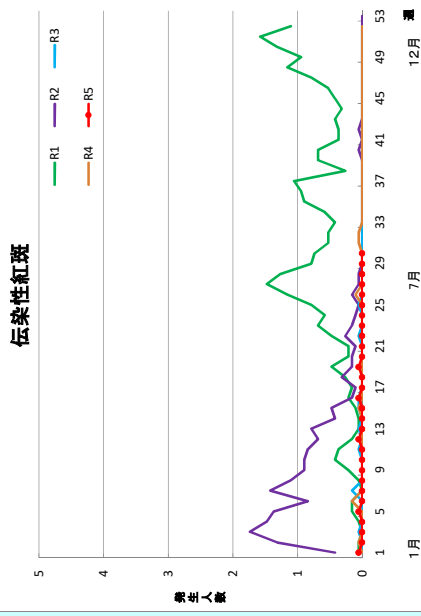
### 中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)



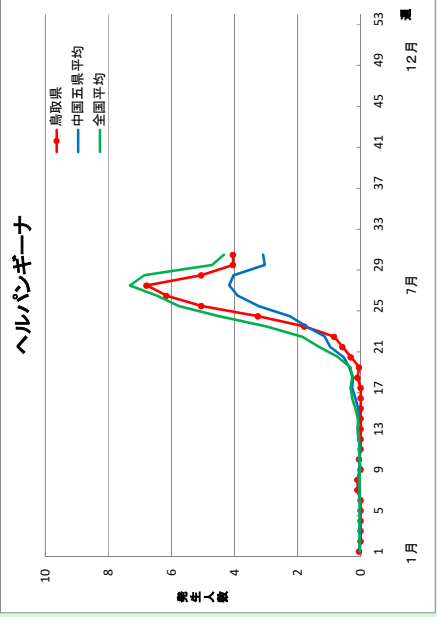
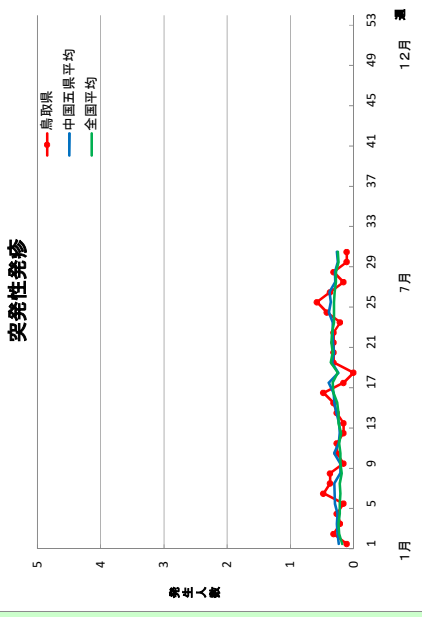
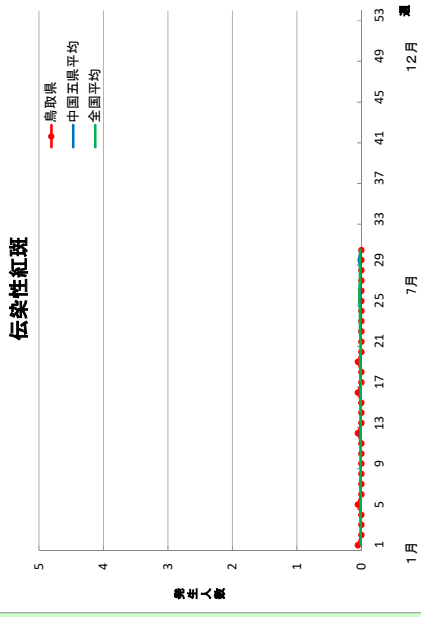
### 地区発生状況グラフ(定点当たり)



### 年次別発生状況グラフ(定点当たり)

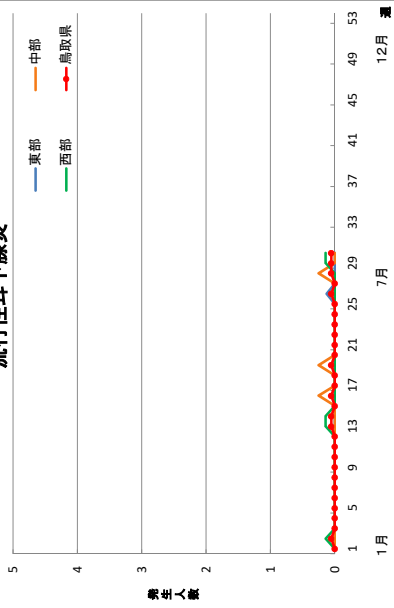


### 中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)

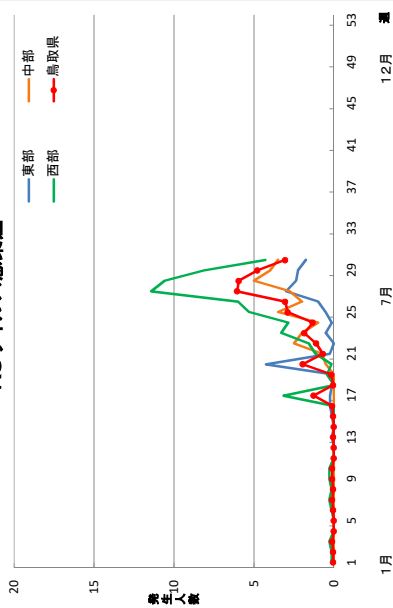


地区発生状況グラフ(定点当たり)

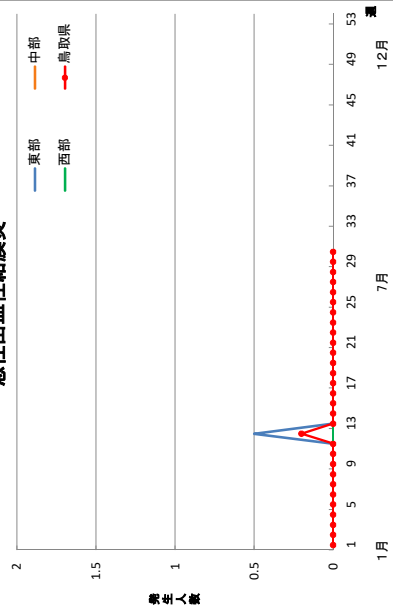
流行性耳下腺炎



RSウイルス感染症

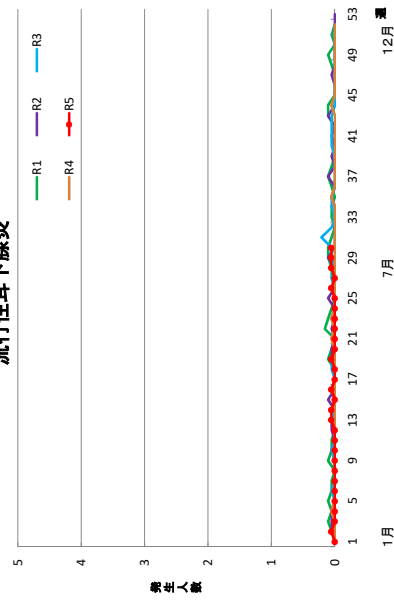


急性出血性結膜炎

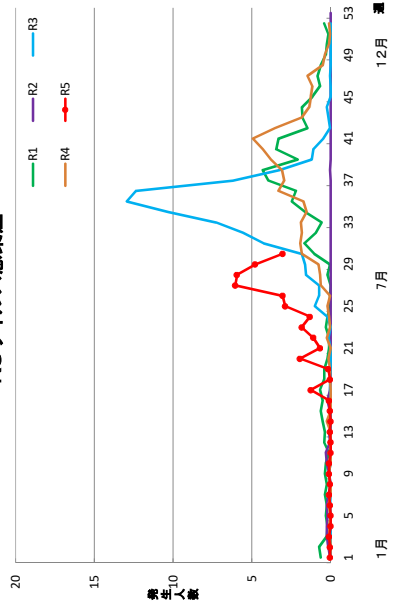


年次別発生状況グラフ(定点当たり)

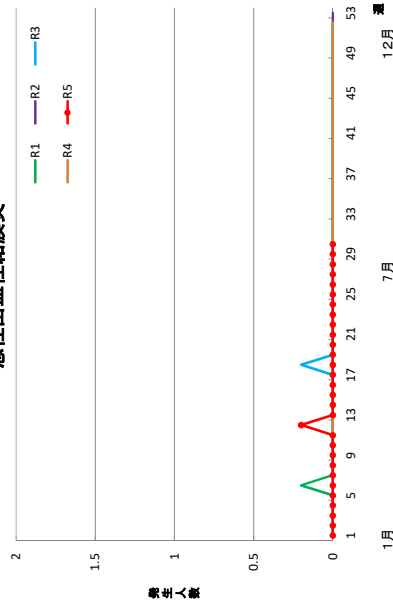
流行性耳下腺炎



RSウイルス感染症

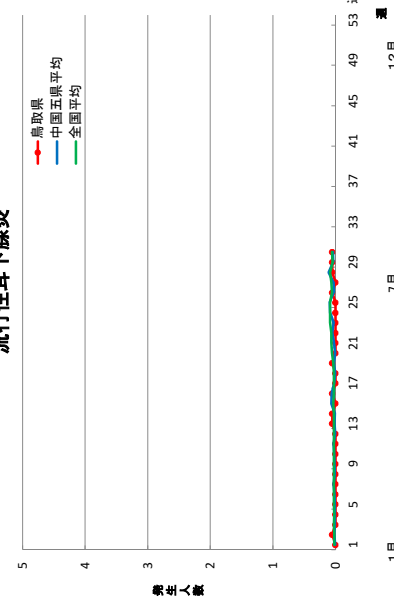


急性出血性結膜炎

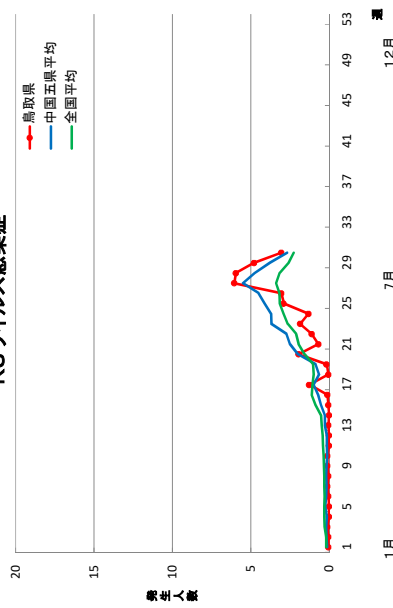


中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)

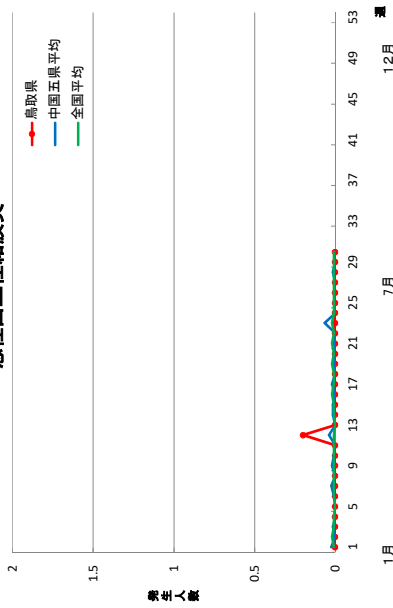
流行性耳下腺炎



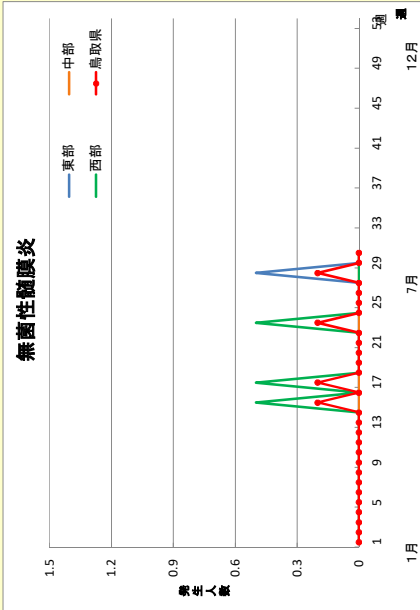
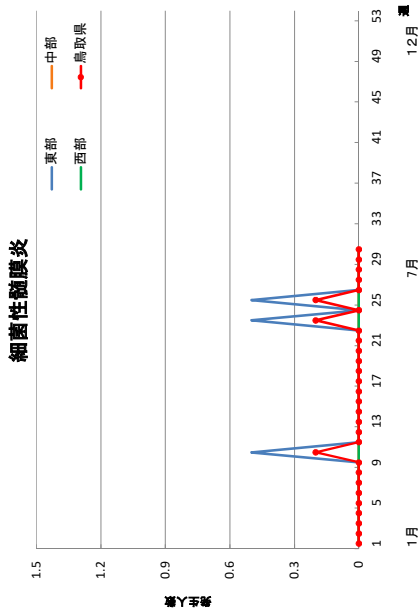
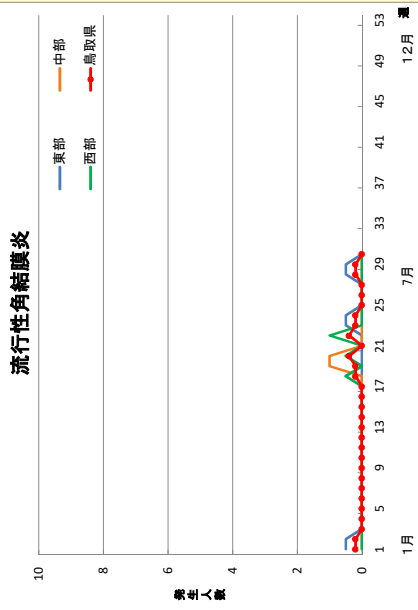
RSウイルス感染症



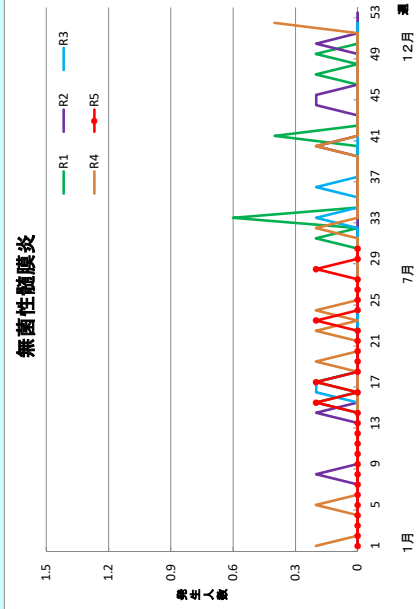
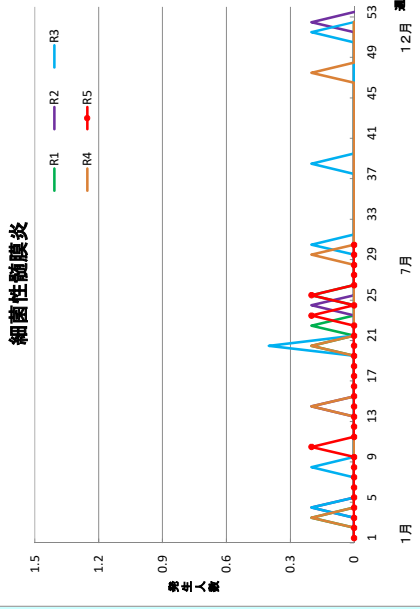
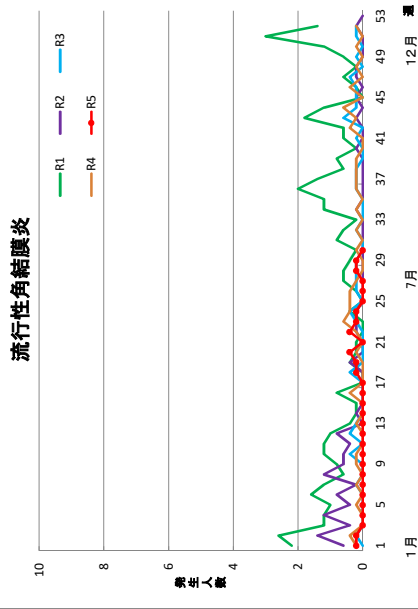
急性出血性結膜炎



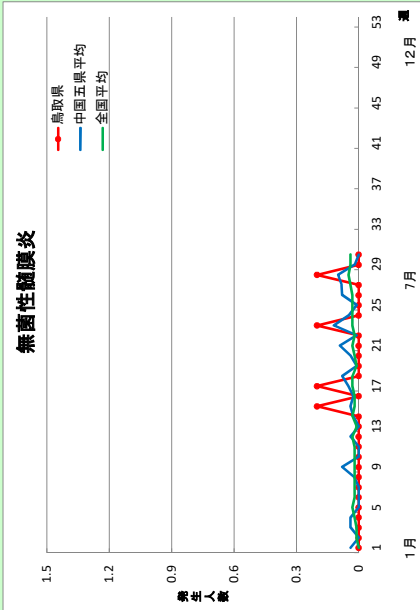
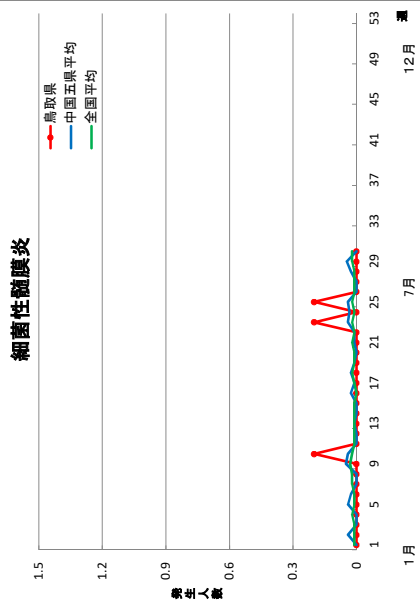
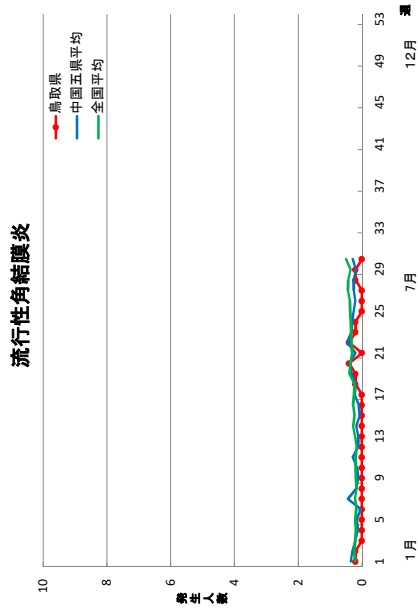
地区発生状況グラフ(定点当たり)



年次別発生状況グラフ(定点当たり)

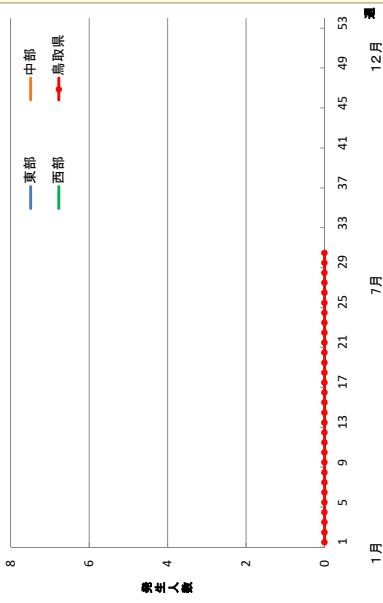


中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)

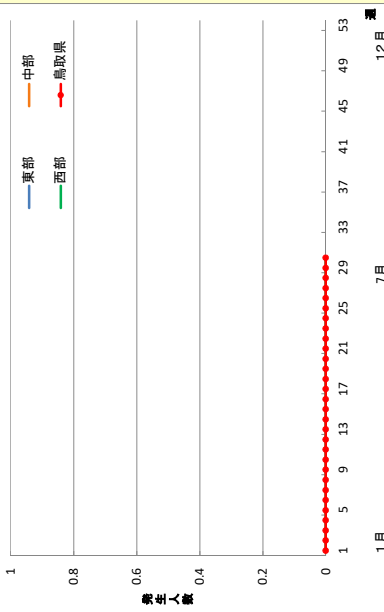


### 地区発生状況グラフ(定点当たり)

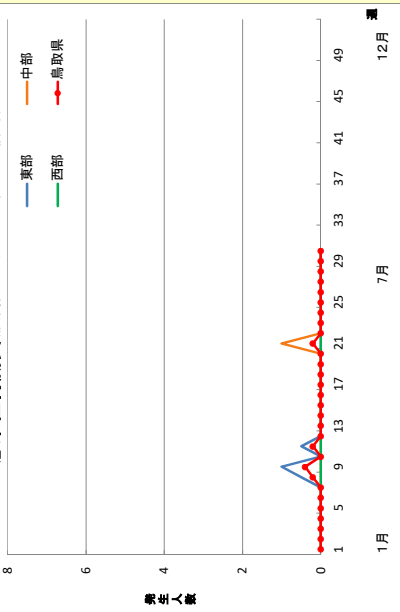
マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎(オウム糞を除く)

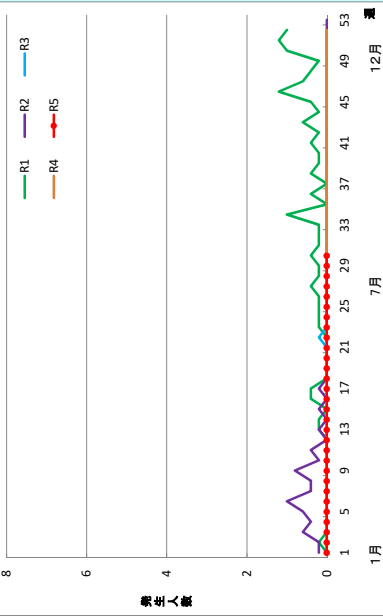


感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

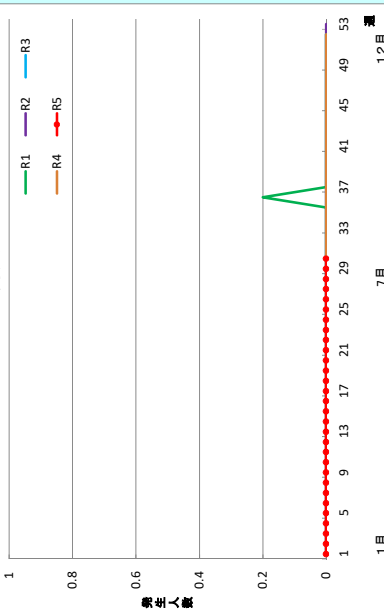


### 年次別発生状況グラフ(定点当たり)

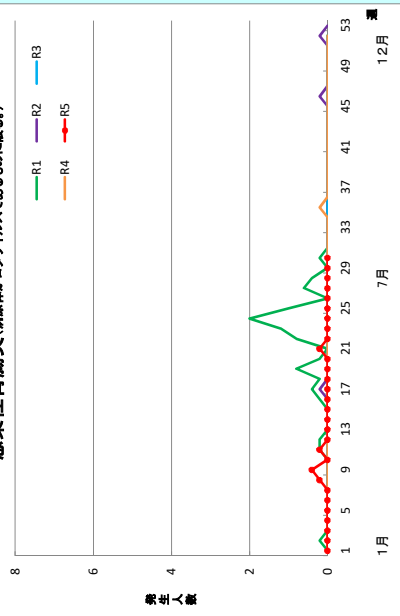
マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎(オウム糞を除く)

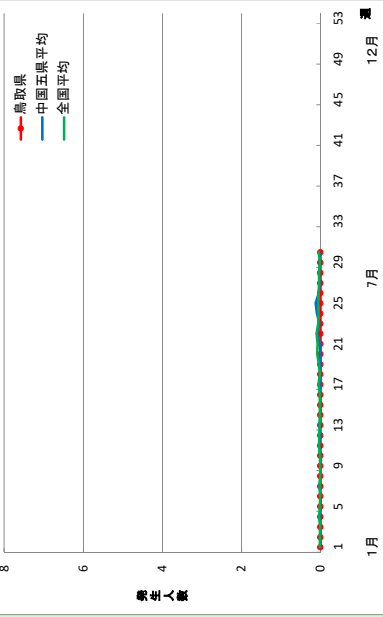


感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

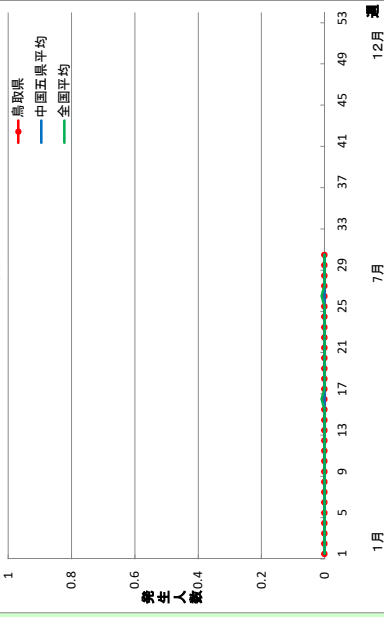


### 中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)

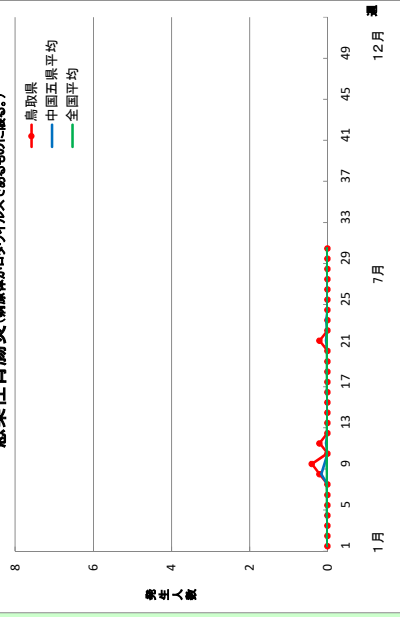
マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎(オウム糞を除く)

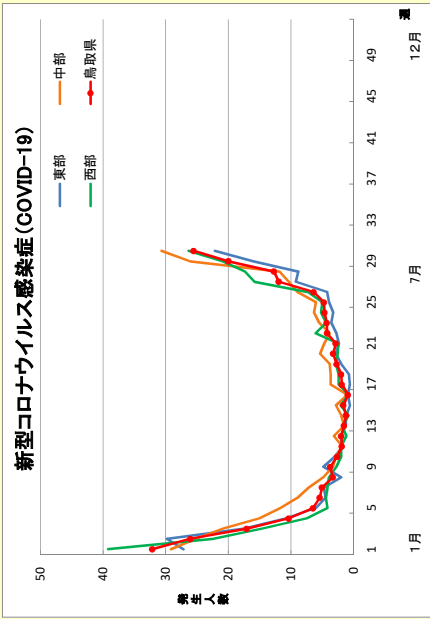


感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)



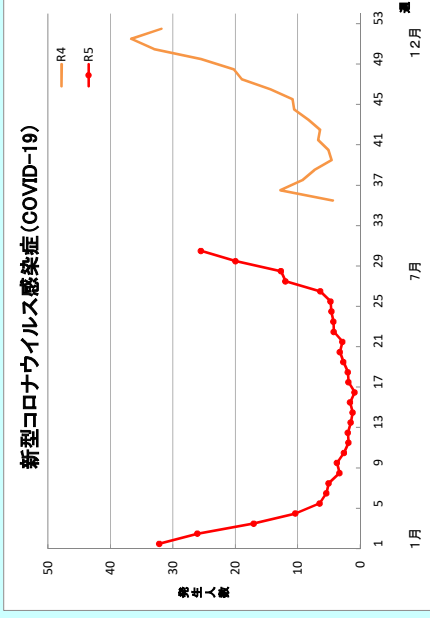


### 地区発生状況グラフ(定点当たり)

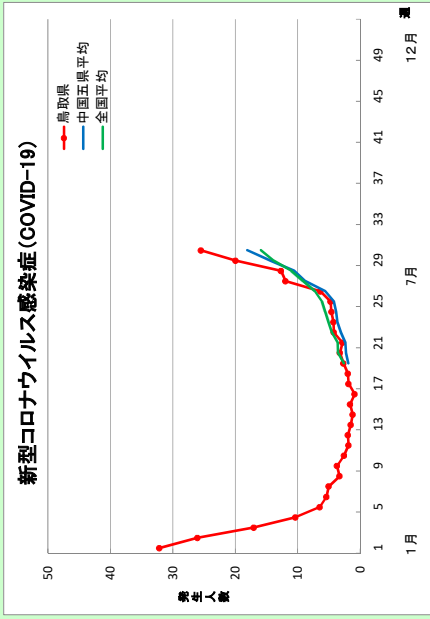


注) 令和5年第18週(9/1~5/7)までは全数報告分のうち定点医療機関からの報告件数を元に算出。

### 年次別発生状況グラフ(定点当たり)



### 中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)



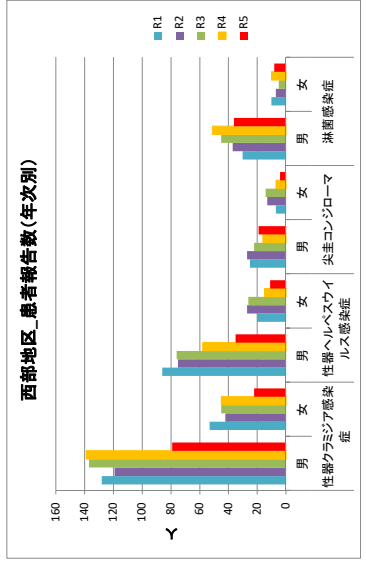
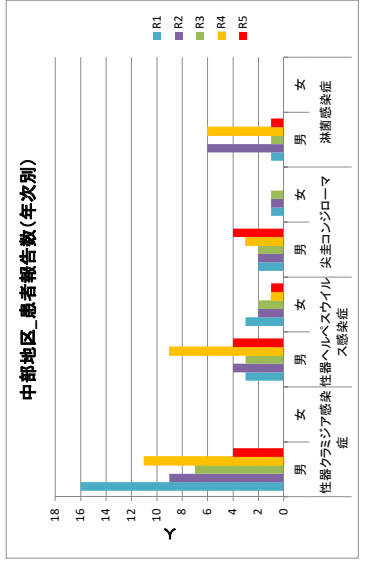
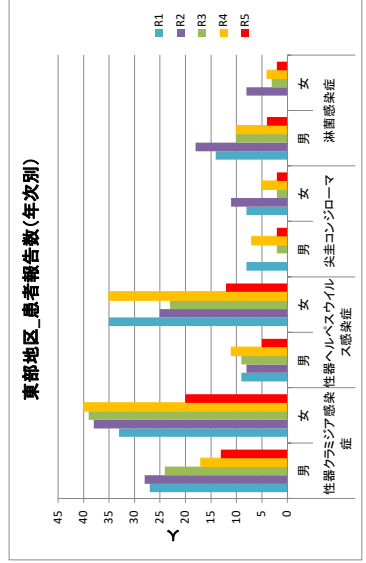
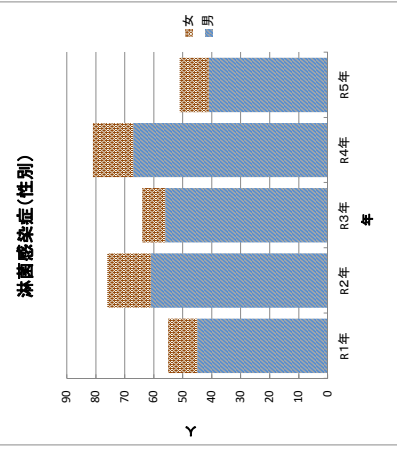
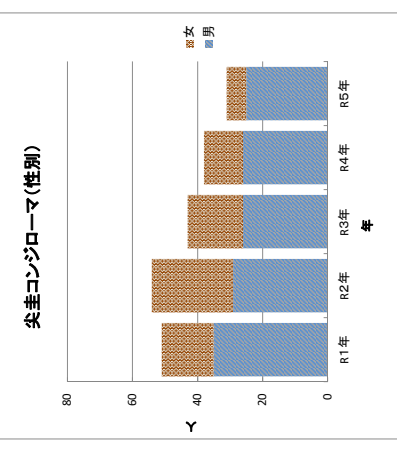
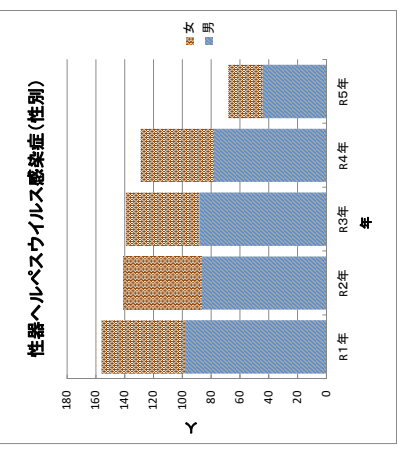
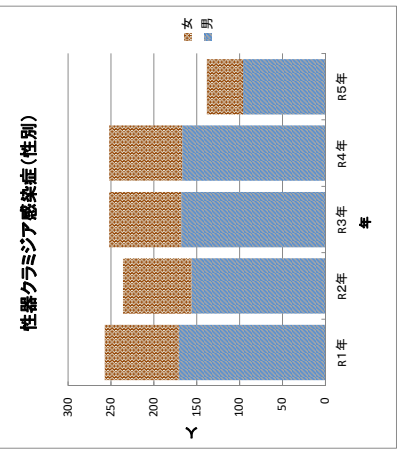
令和4年

定 点 数	疾 病 名	1月		2月		3月		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1~12月計		対前年累計比率							
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計				
S	性器クラミジア感染症	11	9	20	13	7	20	6	7	13	18	8	26	14	7	21	17	7	24	11	4	15	21	6	27	10	9	19	167	85	252	99%	101%	100%	
T	性器ヘルペスウイルス感染症	7	4	11	6	12	7	6	13	7	4	11	12	14	10	9	19	5	3	8	2	4	15	11	26	10	9	19	167	85	252	99%	101%	100%	
D	尖圭コンジローマ	3	0	3	1	1	2	1	2	1	3	3	0	3	1	0	1	4	3	4	7	3	0	3	2	4	0	0	6	2	8	78	89%	100%	93%
7	淋菌感染症	2	1	3	3	0	3	12	0	12	6	2	8	5	0	5	2	6	3	1	4	3	4	7	3	0	0	0	12	38	100%	71%	88%		
基	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	3	2	5	7	4	11	5	6	11	5	2	7	4	3	10	2	12	6	3	9	7	1	8	4	0	4	9	13	14	67	14	120%	175%	127%
幹	ペニシリン耐性球菌感染症	0	1	1	0	0	1	1	1	0	1	1	0	1	0	0	2	0	0	0	1	2	0	0	1	2	0	0	6	4	10	300%	133%	200%	
5	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

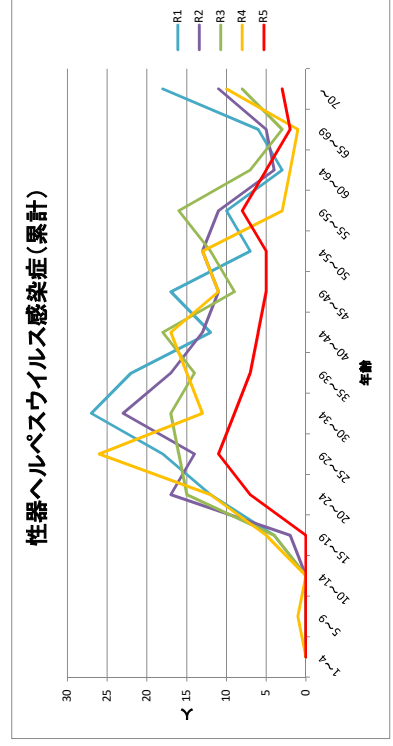
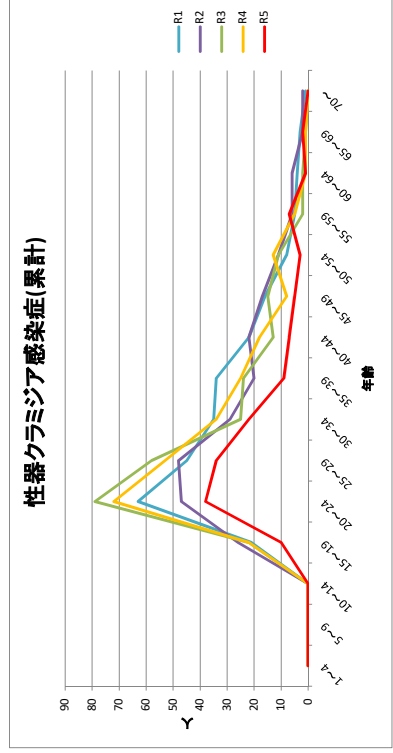
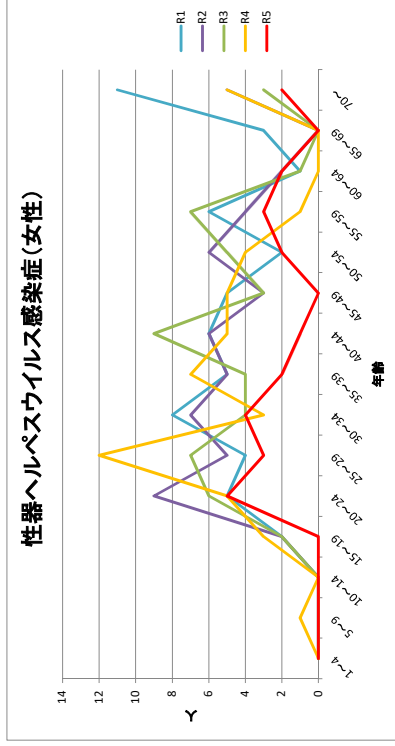
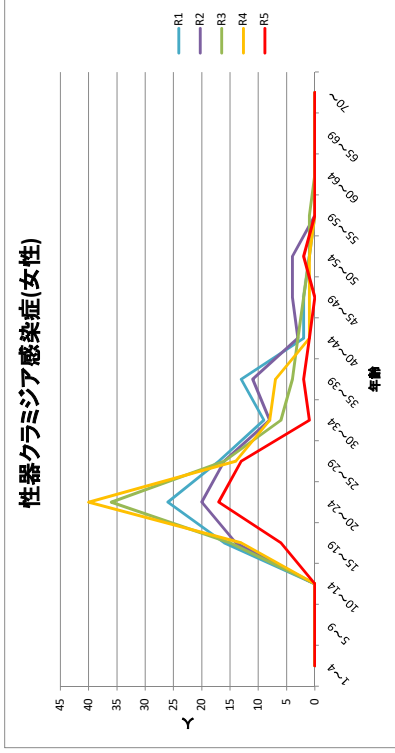
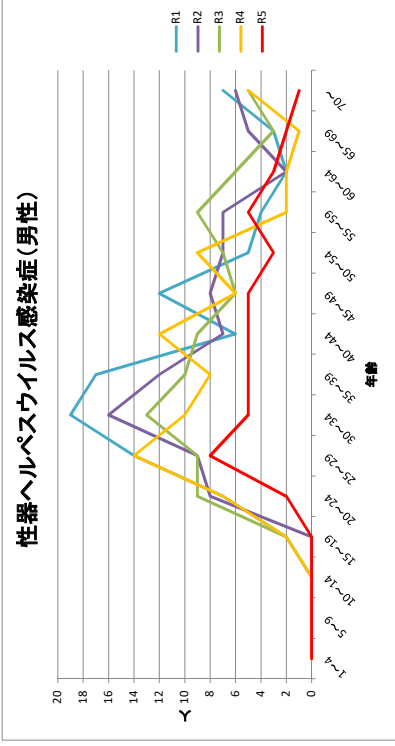
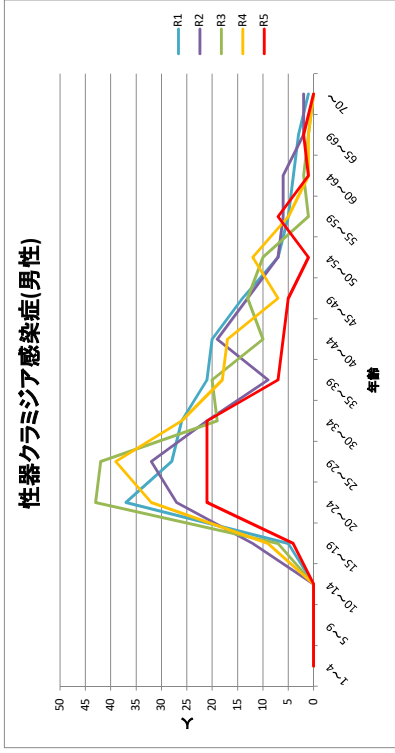
令和5年

定 点 数	疾 病 名	1月		2月		3月		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		7月計		対前年7月未累計比率						
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計			
S	性器クラミジア感染症	10	5	15	14	6	20	8	3	11	22	6	28	12	7	19	13	6	19	17	9	26	15	11	26	10	9	19	167	85	252	99%	101%	100%
T	性器ヘルペスウイルス感染症	5	2	7	4	6	10	4	2	6	9	6	15	5	2	7	6	3	9	11	3	14	11	7	18	6	2	8	24	44	68	81%	71%	77%
D	尖圭コンジローマ	3	1	4	1	0	1	0	1	1	5	1	6	4	0	4	9	1	10	3	2	5	10	3	13	4	0	0	6	31	167%	120%	155%	
7	淋菌感染症	5	1	6	3	0	3	9	2	11	8	0	8	6	3	9	5	2	7	5	2	7	10	3	13	4	0	0	41	10	51	103%	167%	111%
基	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	6	5	11	4	1	5	4	8	4	5	9	9	7	16	3	4	7	5	1	6	35	27	62	90%	129%	103%	90%	129%	103%	90%	129%	103%	
幹	ペニシリン耐性球菌感染症	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	2	1	0	1	0	1	0	1	2	0	0	3	3	6	100%	100%	100%	
5	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

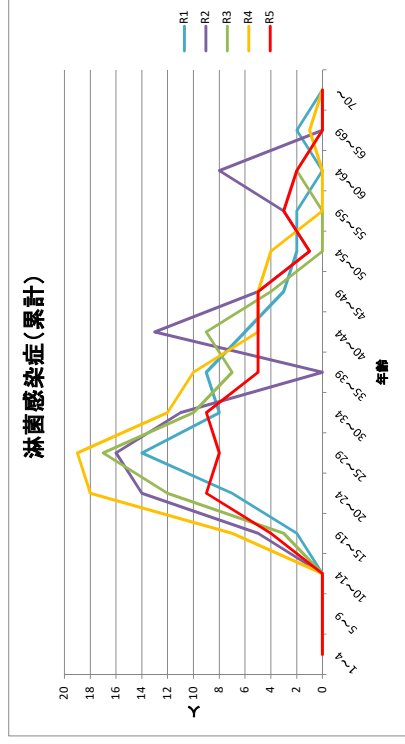
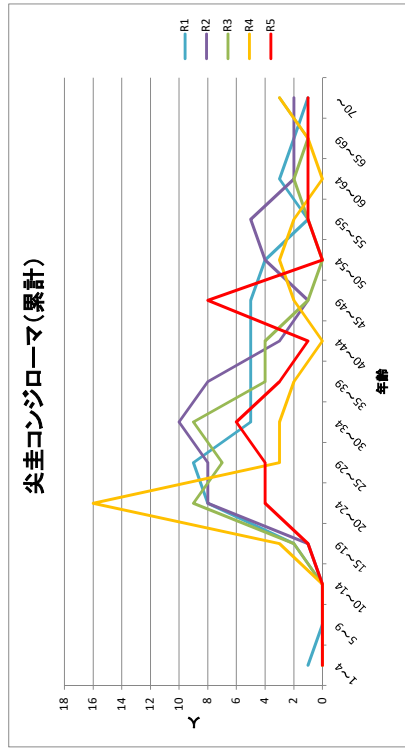
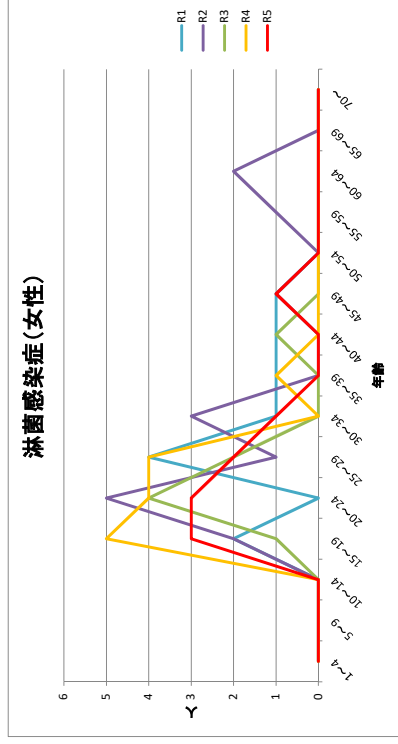
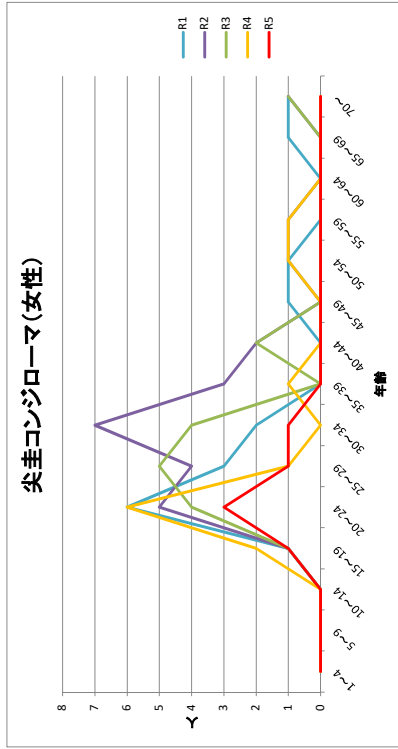
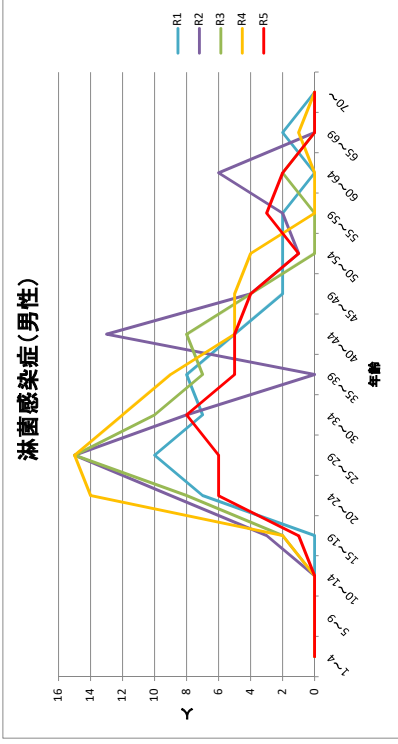
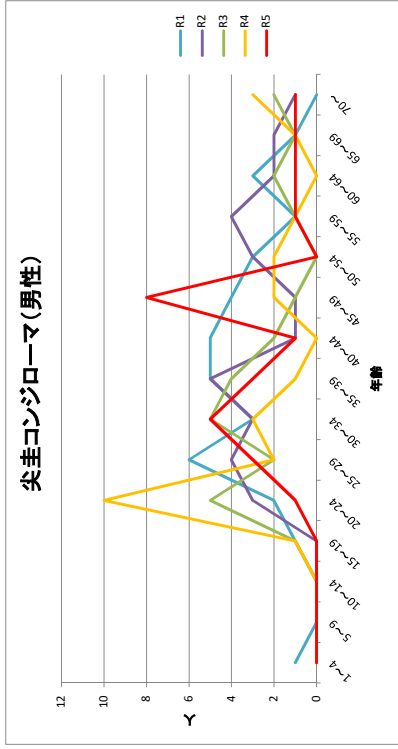
※各年毎に1月から12月の定点医療機関からの累計患者報告数です。



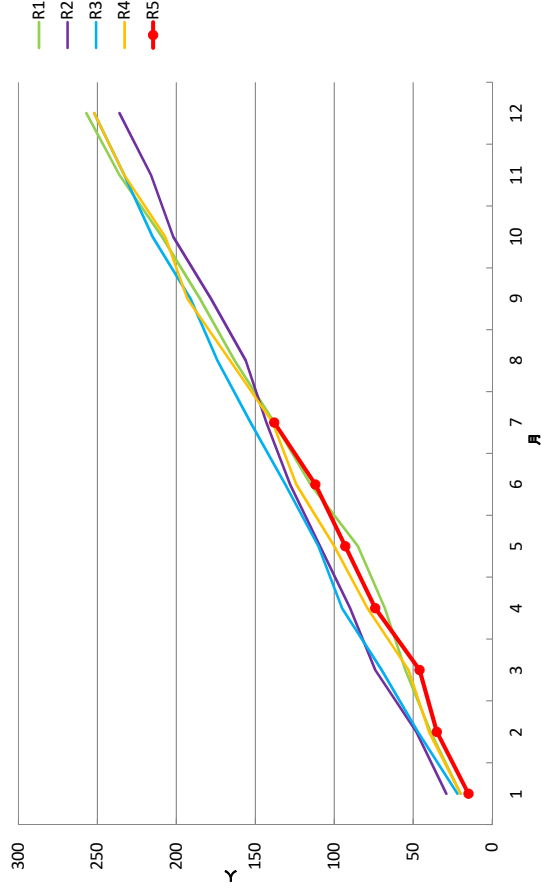
性感染症 年次別・年齢別・男女別累計グラフ



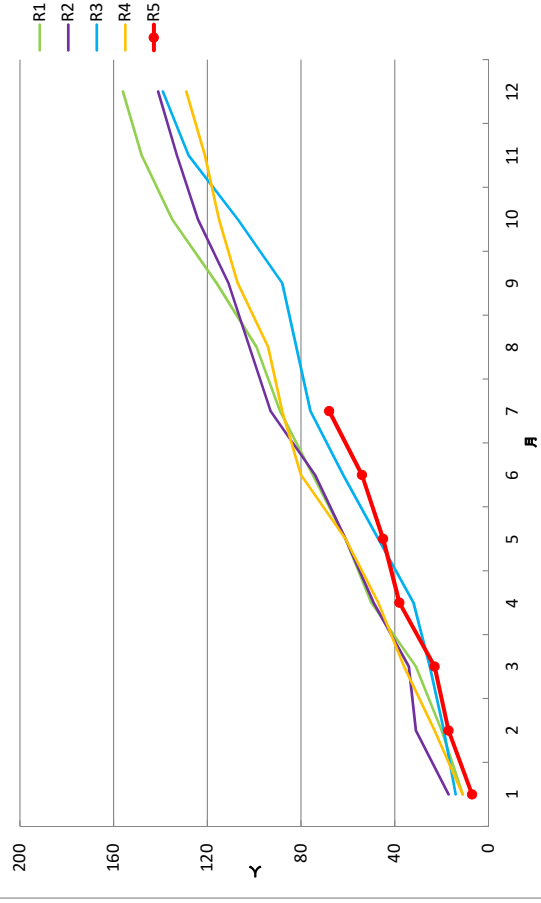
性感染症 年次別・年齢別・男女別累計グラフ



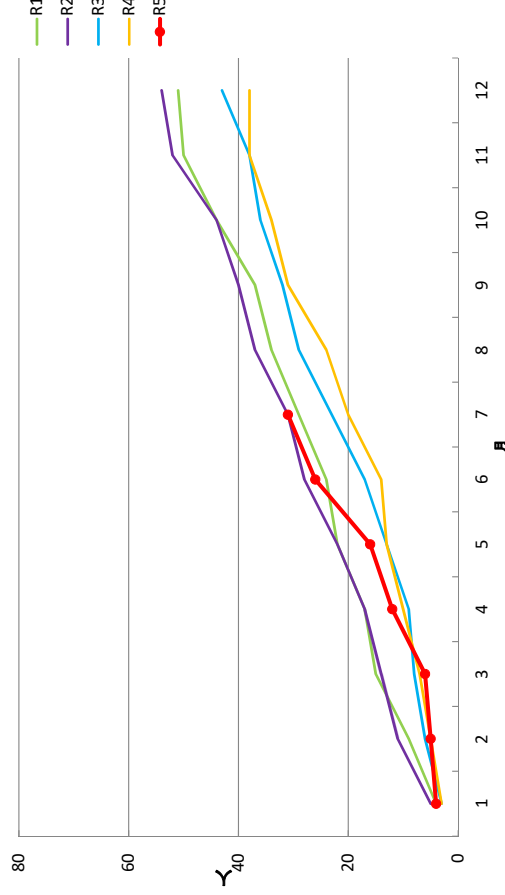
性器クラミジア感染症報告状況(累計)



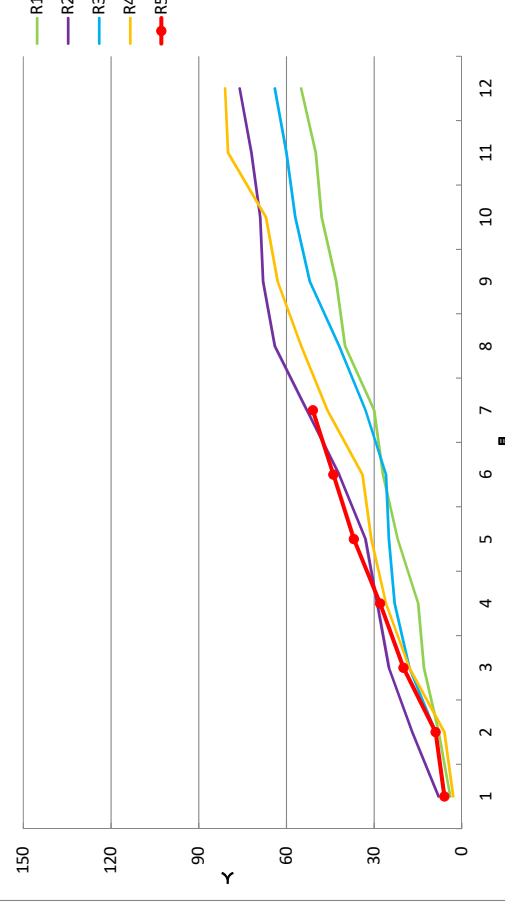
性器ヘルペスウイルス感染症報告状況(累計)



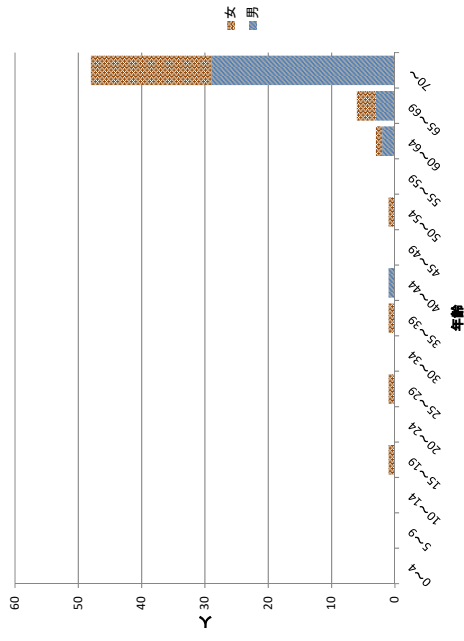
尖圭コンジローマ報告状況(累計)



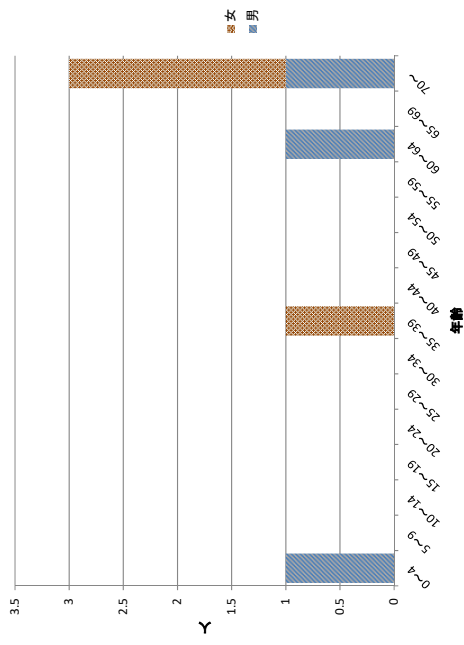
淋菌感染症報告状況(累計)



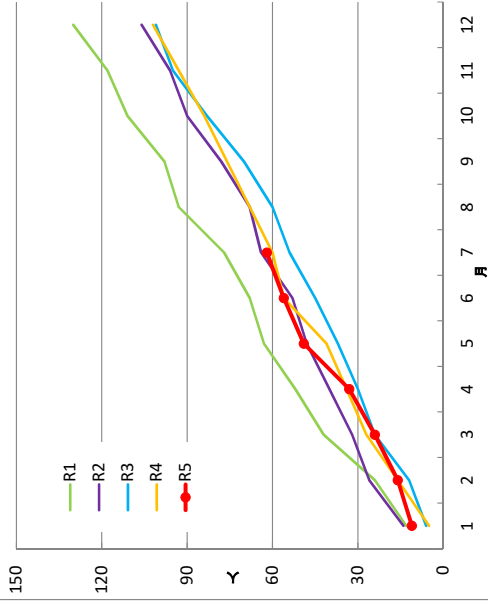
令和5年 メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症  
(年齢別累計)



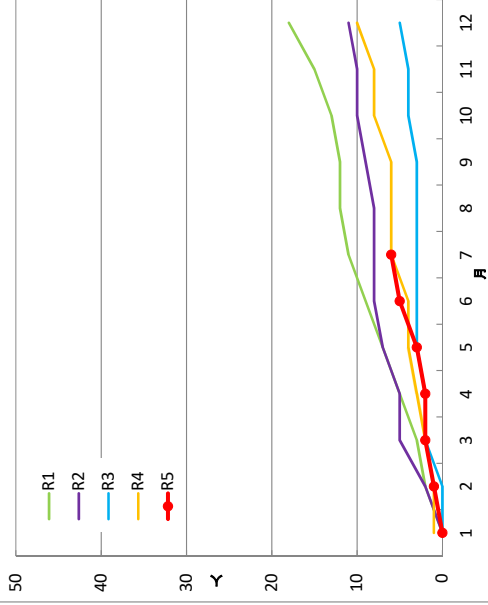
令和5年 ペニシリン耐性肺炎球菌感染症  
(年齢別累計)



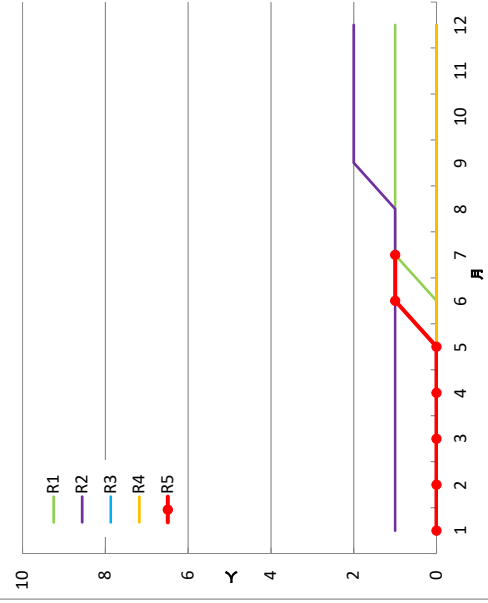
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症報告状況(累計)



ペニシリン耐性肺炎球菌感染症報告状況(累計)



薬剤耐性緑膿菌感染症報告状況(累計)



# 鳥取県における感染症発生状況(全数報告分・令和5年)

令和5年7月31日 現在  
※( )は前年数値

## (1)2類感染症

疾病名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計		
													7月時点	年間	
急性灰白髄炎													0	(0)	(0)
結核	1 (8)	2 (11)	5 (3)	2 (5)	5 (4)	2 (6)	4 (1)	(3)	(5)	(6)	(2)	(3)	21	(38)	(57)
潜在性結核 ※再掲	(2)	(5)	2 (2)	(1)	1		(1)	(3)	(1)	(2)		(1)	3	(11)	(18)
疑似症患者 ※再掲													0	(0)	(0)
ジフテリア													0	(0)	(0)
重症急性呼吸器症候群													0	(0)	(0)
中東呼吸器症候群													0	(0)	(0)
鳥インフルエンザ(H5N1)													0	(0)	(0)
鳥インフルエンザ(H7N9)													0	(0)	(0)

## (2)3類感染症

疾病名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計		
													7月時点	年間	
コレラ													0	(0)	(0)
疑似症 ※再掲													0	(0)	(0)
細菌性赤痢													0	(0)	(0)
腸管出血性大腸菌感染症		(2)				1 (1)	1 (2)	(3)			(3)	(3)	2	(5)	(14)
腸チフス													0	(0)	(0)
パラチフス													0	(0)	(0)

## (3)4類感染症

疾病名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計		
													7月時点	年間	
マラリア										(1)			0	(0)	(1)
E型肝炎							1						1	(0)	(0)
A型肝炎													0	(0)	(0)
つつが虫病	(1)			1	(1)								1	(2)	(2)
日本紅斑熱				(1)	1	(3)			(2)	(2)	(1)		1	(4)	(9)
重症熱性血小板減少症候群			1						(1)				1	(0)	(1)
レジオネラ症	1	(2)	(1)	1	2 (2)	2 (1)	1	(3)	(3)	(1)			7	(6)	(13)
レプトスピラ症													0	(0)	(0)
デング熱						1							1	(0)	(0)
チクングニア熱													0	(0)	(0)

## (4)5類感染症

疾病名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計		
													7月時点	年間	
アメルバ赤痢			1		(1)	1							2	(1)	(1)
ウイルス性肝炎(E型・A型肝炎を除く)				1									1	(0)	(0)
急性脳炎(ウエストナイル脳炎及び日本脳炎等を除く)	(1)	(1)			2	(1)							2	(3)	(3)
クリプトスポリジウム症		1											1	(0)	(0)
クロイツフェルト・ヤコブ病													0	(0)	(0)
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		1				1 (1)	1 (1)			(1)			3	(2)	(3)
後天性免疫不全症候群			2		1							(1)	3	(0)	(1)
無症候性キャリア ※再掲			1		1								2	(0)	(0)
AIDS ※再掲			1										1	(0)	(0)
侵襲性インフルエンザ菌感染症							2			(1)	(1)	(1)	2	(0)	(3)
侵襲性髄膜炎菌感染症													0	(0)	(0)
侵襲性肺炎球菌感染症	1 (1)	1	1 (1)	(2)		2 (1)	2	(2)	(1)	(1)	(1)		7	(5)	(10)
水痘(入院例に限る。)				(1)									0	(1)	(1)
梅毒	1	6 (3)	1 (1)	4 (3)	3 (1)	4	1 (3)		(1)		(2)	(1)	20	(11)	(15)
播種性クリプトコックス症			2			(1)					(1)		2	(1)	(2)
破傷風													0	(0)	(0)
薬剤耐性アシネトバクター感染症													0	(0)	(0)
カルバペネム耐性腸内細菌感染症		2	1	(1)	(1)						(1)		3	(2)	(3)
ジアルジア症			(1)										0	(1)	(1)
百日咳				1	1 (1)	1	(1)			(1)			3	(2)	(3)
麻しん						1							1	(0)	(0)
風しん													0	(0)	(0)

## (5)新型コロナウイルス感染症(5/8以降定点把握)

疾病名	1月	2月	3月	4月	5月(7日まで)	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計		
													7月時点	年間	
新型コロナウイルス感染症	22,907(2063)	4,687(3097)	2,336(2588)	1,483(2912)	464(2877)	(1440)	(1239)	(2564)	(8376)	(5882)	(13300)	(29552)	31,877	(27373)	(110429)

腸管出血性大腸菌感染症の発生状況

① 月別件数

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計								
													7月時点	年間							
令和5年						1	1						2	(0)	2	(0)					
令和4年		2	(2)			1	2	3			3	(1)	3	0	(0)	14	(3)				
令和3年	1		3	(2)	1	(1)	2	(1)	1	(1)				1	(0)	10	(6)				
令和2年			1		2	(1)	7	(1)	2		3	(2)	7	(4)	3	(1)	26	(9)			
令和元年		1	1		6	(1)	1	2	4	(1)		3	(2)	4	2	(2)	0	(0)	24	(6)	
平成30年					3		1	4	(2)	9		4		1			0	(0)	22	(2)	
平成29年	1	(1)			1	1	(1)	7	(3)	5	(2)	1		4	(3)	1	(1)	1	(1)	21	(11)
平成28年						5	(4)	3	(1)	6	(1)	1			1	(1)	0	(0)	16	(7)	
平成27年						3	(2)	33	(23)	12	(7)	10	(6)	1	(1)	1	0	(0)	60	(39)	
平成26年					7	(4)	1	1	1	1	5	(3)					0	(0)	15	(7)	
平成25年		1	(1)		1		6	7	(3)	4	(1)	7	(2)				0	(0)	26	(7)	
平成24年						2	1	5	(1)		6	(2)		1			0	(0)	15	(3)	
平成23年				1	5	(2)	3	(2)		2	(1)	3	(1)	4	(2)	1	1	0	(0)	20	(8)

② 血清型別件数

区分	O8	O26	O29	O91	O103	O119	O111	O121	O125	O128	O145	O146	O157	型不明	計				
令和5年													2		2	(0)			
令和4年					3							2	(2)	8	1	(1)	14	(3)	
令和3年					4	(2)						1	(1)	3	(1)	2	(2)	10	(6)
令和2年	1	4	(2)	1	4	(2)	3	(1)	1	(1)	1	1	(1)	7	3	(2)	26	(9)	
令和元年					3	(1)	4	(1)						15	(2)	2	(2)	24	(6)
平成30年		2			3						1			16	(2)		22	(2)	
平成29年		1			2	(1)	4	(3)				1	(1)	10	(3)	3	(3)	21	(11)
平成28年		1	(1)											14	(5)	1	(1)	16	(7)
平成27年		40	(28)		1	4	(2)	1				1	(1)	9	(4)	4	(4)	60	(39)
平成26年		7	(4)				5	(3)						3			15	(7)	
平成25年		3	(1)					1						21	(5)	1	(1)	26	(7)
平成24年														15	(3)		15	(3)	
平成23年		9	(4)		2	(1)								7	(2)	2	(1)	20	(8)

③ 年齢別件数

区分	～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計								
令和5年				1				1				2	(0)							
令和4年	5	1	2	1	1	2	(1)			2	(2)	14	(3)							
令和3年	1		1	(1)	1	(1)		1	(1)	1	(1)	3	(2)	2	10	(6)				
令和2年	7	2	2	2	1	(1)	4	(4)	3	(1)	3	(3)		2	26	(9)				
令和元年	9	(2)	2		4	(2)	2		1	(1)	3	(1)	3		24	(6)				
平成30年	2	2			10	(1)	3	(1)	1		2		1		22	(2)				
平成29年	3	(1)	1	2	(1)	2	(1)	2	(2)	2	(2)	4	(3)	4	(1)	1	21	(11)		
平成28年	4	4	(3)		1	2	(1)	3	(2)	1	(1)			1	16	(7)				
平成27年	22	(13)	18	(12)	2	(1)	2	(2)	4	(4)	6	(3)	1	(1)	3	(2)	2	(1)	60	(39)
平成26年	6	(1)	3	(1)			2	(2)	2	(2)	1			1	(1)		15	(7)		
平成25年	6	2	3	(1)	1	3	(1)	1	2	(1)	1	(1)	2	(1)	3	(1)	2	(1)	26	(7)
平成24年	3	3	(1)	3	1	2	2	(2)			1				15	(3)		15	(3)	
平成23年	4	(1)	5		3	(1)	3	(2)			1	(1)	2	(2)	1	1	(1)	20	(8)	
平成22年	6	4	(3)	1	2	3	2	(2)	1	(1)	1	(1)			1		21	(7)		

④ 地区別件数

区分	東部地区	中部地区	西部地区	計				
令和5年	1		1	2	(0)			
令和4年	5	(1)	6	3	(2)	14	(3)	
令和3年	4	(2)	3	(2)	3	(2)	10	(6)
令和2年	3		15	(5)	8	(4)	26	(9)
令和元年	6	(2)	14	(3)	4	(1)	24	(6)
平成30年	7		5		10	(2)	22	(2)
平成29年	1		8	(4)	12	(7)	21	(11)
平成28年	2	(1)	12	(5)	2	(1)	16	(7)
平成27年	4	(4)	45	(31)	11	(4)	60	(39)
平成26年	1		8	(4)	6	(3)	15	(7)
平成25年	4	(1)	9	(3)	13	(3)	26	(7)
平成24年	7	(2)	1		7	(1)	15	(3)
平成23年			2	(1)	18	(7)	20	(8)



# 鳥取県病原微生物検出情報

(令和5年7月検出分；検体採取 令和5年5月～7月)

令和5年8月18日  
鳥取県衛生環境研究所

## 1 インフルエンザ

臨床診断名がインフルエンザ、インフルエンザ様疾患の検体2件（検体採取6月中旬～7月中旬）について、検査を行ったところ、2件からインフルエンザA H3型が検出された。（詳細は表1のとおり）

表1 2022/23 シーズン鳥取県インフルエンザ検出情報

検体採取時期		検体採取場所	検出数	A型別、B系統別				備考
年	月日			A(H1N1)pdm09型	A H3型	B victoria	B 山形	
2023	4月3日	西部	1	1	0	0	0	
	6月16日	西部	1	0	1	0	0	
	7月5日	西部	1	0	1	0	0	
病原体定点PCR検査合計 (2023/4/3～現在)			3	1	2	0	0	

全国のインフルエンザ患者から分離・検出されたウイルスについては、国立感染症研究所の病原微生物検出情報（8月11日作成）によると、2022/23 シーズンは、AH3型が最も多く報告されている。（図1）

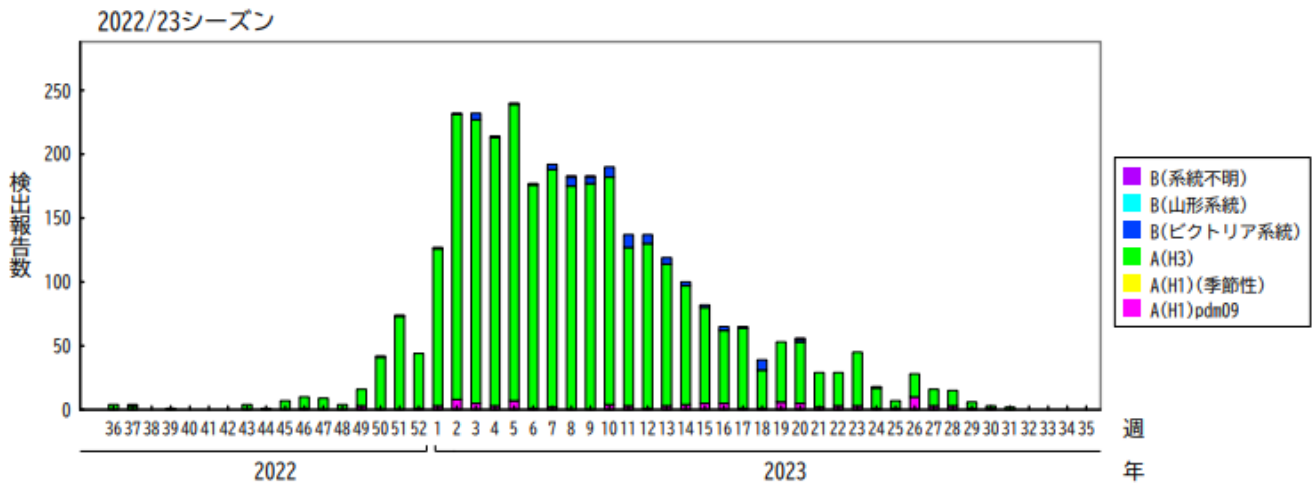


図1 週別インフルエンザウイルス分離・検出報告数（2022/23 シーズン）

## 2 感染性胃腸炎

臨床診断名が感染性胃腸炎の検体3件について、検査を行ったところ、アデノウイルス1件、アストロウイルス2件、エンテロウイルス2件が検出された。(詳細は表1のとおり)

検出されたアデノウイルスは2型(C種)であった。アデノウイルスによる胃腸炎は主として31型(A種)、40型、41型(F種)が知られているが、今回検出した2型(C種)は扁桃に持続感染し、小児の糞便中に間欠的に排出されることが知られており、下痢症の病原体としての意義は低いと考えられる。また、検出されたエンテロウイルスは2件ともにコクサッキーB5型であったが、感染性胃腸炎との因果関係は不明である。

表2 感染性胃腸炎検査状況

検体番号	検体採取時期	ノロウイルス	サポウイルス	A群ロタウイルス	C群ロタウイルス	アデノウイルス	アストロウイルス	エンテロウイルス
230017	6月上旬	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	検出 (Ct値15)	検出 (Ct値31) コクサッキーB5型
230019	6月上旬	(-)	(-)	(-)	(-)	検出 (Ct値20) 2型	(-)	(-)
230020	6月中旬	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	検出 (Ct値16)	検出 (Ct値33) コクサッキーB5型
検出計		0件	0件	0件	0件	1件	2件	2件

(-) : 未検出

※Ct値が20未満、20以上30未満、30以上の3区分で色分け(Ct値が低いものが濃色)をした。

## 3 無菌性髄膜炎

臨床診断名が無菌性髄膜炎の検体2件(同一患者からの検体)(検体採取5月下旬(検体番号230015、230016))について、アデノウイルス、エンテロウイルス、ムンプスウイルス、ヘルペスウイルスの検査を実施したところ、いずれも検出されなかった。

## 4 ヘルパンギーナ

臨床診断名がヘルパンギーナの検体2件(検体採取6月上旬、6月中旬(検体番号230018、230022))について、エンテロウイルスの検査を実施したところ、1件からコクサッキーB5型が検出され、残り1件からはエンテロウイルスは検出されなかった。

